

当会に関わる全ての活動での禁止行為

「事業者団体の活動に関する独占禁止法の指針」（公正取引委員会）

- 1) 一定の取引分野における競争を実質的に制限すること
- 2) 不当な取引制限又は不公正な取引方法に該当する事項を内容とする
国際的協定又は国際的契約をすること
- 3) 一定の事業分野における現在又は将来の事業者の数を制限すること
- 4) 構成事業者の機能又は活動を不当に制限すること
- 5) 事業者に不公正な取引方法に該当する行為をさせるようにすること
- 6) 情報の共有

当会に関わる全ての活動において、以下の情報(含、計画・見通し)を共有すること
(公知のものを除く)

- ①供給製品の一切の価格情報
- ②供給製品のコスト情報
- ③供給製品の将来の生産数量情報
- ④顧客・販売地域情報
- ⑤取引先との取引条件に関する情報
- ⑥将来の製品開発情報及び投資情報

#30(2025年度第3回) CN専門委員会

2025.12.22
(一社)日本自動車車体工業会 事務局

2025年12月22日(月)

内 容			時 間
① 委員長挨拶	(石川副委員長代行)		10:35-10:40
② 出席者確認			10:40-10:45
③ 2025年度実績報告	全体		10:45-10:50
	トピックス	CN専門委員会	10:50-11:05
		環境委員会	11:05-11:25
		中央業務/広報委員会	11:25-11:35
		部会・支部	11:35-11:45
④ まとめ			11:45-11:50

② 出席者確認

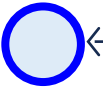
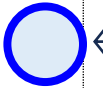
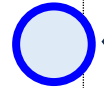
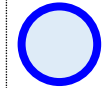
	委員会役職	氏名	所属部会・役職	会社名	役職	出欠
1	委員長	富山 隆	(会長)	日産車体(株)	代表取締役社長	欠席
2	副委員長	石川 洋之	(副会長)	トヨタ自動車東日本(株)	取締役社長	Web
3	副委員長	矢野 彰一	(副会長、パン、九州支部長)	(株)矢野特殊自動車	代表取締役社長	欠席
		柴田 和典	—	(株)矢野特殊自動車	取締役 品質保証部長	欠席
4	委員	赤坂 学	特装部会長	カヤバ(株)	上席常務執行役員	Web
5	委員	森 孝義	特種部会長	中京車体工業(株)	代表取締役社長	Web
6	委員	近藤 匠	トラック部会長	名古屋ボデー(株)	代表取締役社長	代理・Web
	代理	代) 藤田健一郎	トラック副部会長	フジタ自動車工業(株)	代表取締役社長	
7	委員	田中 俊和	パン部会長	日本フルハーフ(株)	代表取締役社長	Web
8	委員	能條 幹也	トレーラ部会長	(株)花見台自動車	代表取締役社長	会議室
9	委員	藤岡 佳一郎	バス部会長	三菱ふそうバス製造(株)	代表取締役社長	代理・Web
	代理	代) 田中 卓	—	三菱ふそうバス製造(株)		
10	委員	松尾 勝博	小型部会長	トヨタ車体(株)	代表取締役社長	代理・Web
	代理	代) 鈴木 教功	—	トヨタ車体(株)	グループ長	
11	委員	市橋 康男	資材部会長	市岡(株)	代表取締役	Web
12	事務局	小森 啓行		車体工業会	専務理事	会議室
13	事務局	松本 東始		車体工業会	事務局長 兼 総務部長	会議室
14	事務局	森田 敦次		車体工業会	事業統括部長	会議室

※25年度第2回より

※

※

計 9名

会議名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
CN専門委員会				7/16(水) 10:30 ~12:00 	フィードバック ↓		10/29(水) 10:30 ~12:00 	フィードバック ↓	12/22(月) 10:30 ~12:00 	フィードバック ↓		3/12(木) 10:30 ~12:00 
環境委員会				7/4(金) 			10/21(火) 		12/10(水) 			3/2(月) 
中央技術委員会				7/8(火) 	実施内容報告		10/22(水) 	実施内容報告	12/15(月) 	実施内容報告		3/6(金) 
中央業務委員会				7/9(水) 			10/23(木) 		12/16(火) 			3/5(木) 
広報委員会		5/30(金) 			8/29(金) 			11/28(金) 			2/27(金) 	

実施内容・次年度計画報告

③ 2025年度事業報告

前回決定事項と本日の報告

- 引き続き事業計画に基づき、各委員会、部会、支部活動を実施する
⇒「③2025年度実績報告」で進捗を確認
- 優先すべき項目（事例展開、会員支援等）にリソースを集中すること
⇒商用車電動化対応は、OEM各社の開発進捗によるため
当面静観する
- 活動があまり進んでいない会員向けに勉強会等の支援策を検討
⇒今後の勉強会/セミナー計画を「CN専門委員会報告」で論議

③ 2025年度事業報告 全体

カテゴリ	実施事項	担当	KPI	25年度実績 ●はトピックス紹介	
	・CN理解促進の仕掛け先導 ・各委員会・部会・支部の活動内容確認と情報共有	CN	#1 7/16、#2 10/29 #3 12/22 、#4 3/12	・各委員会・部会・支部のCN活動を本日確認	○
他団体連携	・自動車5団体 ・経団連モビリティ委員会等	CN	・部工会、自工会情報交換	・部工会：新たな活動なし。当会との取組み項目比較による過不足分析実施（第2回報告済） ・官公庁情報：GX-ETSの情報収集（第2回報告済）	○ ○
現状把握	・アンケート調査、困りごとへの対応 ・未着手会員への対応	中央業務部会	・1回/月情報配信 ・情報発信の継続	・HP周知と困りごと吸上げを毎月(除11月)実施中 ・未着手会員への情報展開の継続、CO2排出量提出フォロー（新たにエネルギー使用量算出会員 12社）	● ○
情報収集	・省エネ改善事例の収集、展開 ・改善事例集の作成、展開【事例WG】 ・勉強会の開催	環境環境 CN	・集約事例のHP掲載 ・事例集1件 ・1件以上	・CO2排出量調査と同時集約した48件はHP公開予定 ・事例のHP掲載:「儲かる,すぐできる,誰でもできるCN」第2弾作成中及び再生エネルギー活用事例紹介を検討中 ・未着手会員／活動を開始した会員に向けたセミナー開催を計画中	● ● ●
計画立案 目標設定	・CO2排出量調査 ・排出量増減分析【分析WG】 ・Scope3	環境	・年間 非量産△1%以上 委託生産△2%以上 (電力係数の増減以外)	・昨年比大幅削減で推移（回収率72.4%） ・省エネ:△3.1万t、CO2フリー電源活用△23.9万t ・LCA、CFPの推進方法の情報収集を実施中	● ○
実行支援	・困りごとの確認と現地支援 ・部会(支部)との一体活動 ・商用車電動化対応	環境部会支部 中央技術	・支援4件以上 ・部会、支部巻き込み	・訪問支援2件実施。残3社実施予定。 ・自工会と連携しOEMからの電動化情報収集中	● △

③ 2025年度事業報告 トピックス

CN専門委員会

■ 会員のレベルごとに内容を分けて、セミナー・講演会や事例発表などで情報発信を行う

CNレベル	目的	2026年 開催時期 & 内容						
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	
未着手 (アンケート未回答)	取組む必要性やメリットに気づき、CNは経営課題と認識し動き出してもらう	会員数(アンケート回答なし)：29社 特装：4社、特種：9社、トラック：13社、バン：3社		★ セミナー(内部)	☆ 取組む必要性だけでなく、CNを進めることが経営にも寄与することを分かってもらう	☆	☆	
初期段階 (動き出したころ)	取組み内容の整理、削減の考え方や方策案を提供しさらに進めてもらう	常任委員会・理事会	★ 会員企業の取組み事例発表	★ セミナー(内部)	★ 見える化(外部講師)	☆ 他社事例を取込み	☆	
取組み中	事例や先進技術を提供するとともに、横展開できる情報を教えてもらう		CN取組み					
	上記の内 小型部会		トヨタ東日本 梶ヶ谷さん (工場環境分科会長)	講師	随時 情報提供と支援を実施していく			
			CN取込み					

■ セミナー お金をかけずにやれること、リソースがなくても出来ることを伝え、ハードルを下げる

■ 伝え方 現在の情報展開(HP紹介メール、車体NEWS)の継続と、新たに短い動画を作成しCNをアピール

具体的内容を検討

儲かる すぐできる 誰でもできる

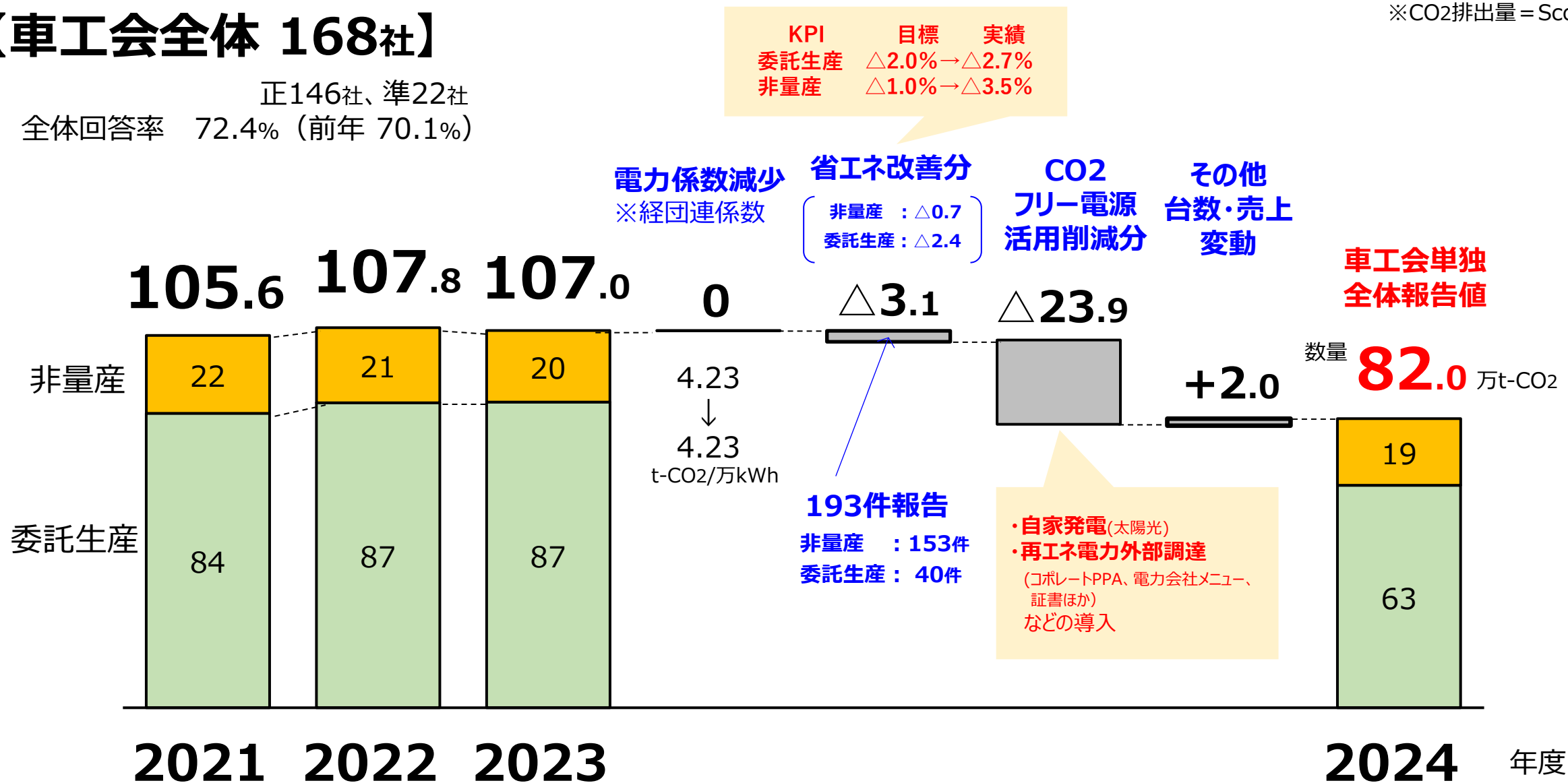
トピックス（各委員会）

環境委員会

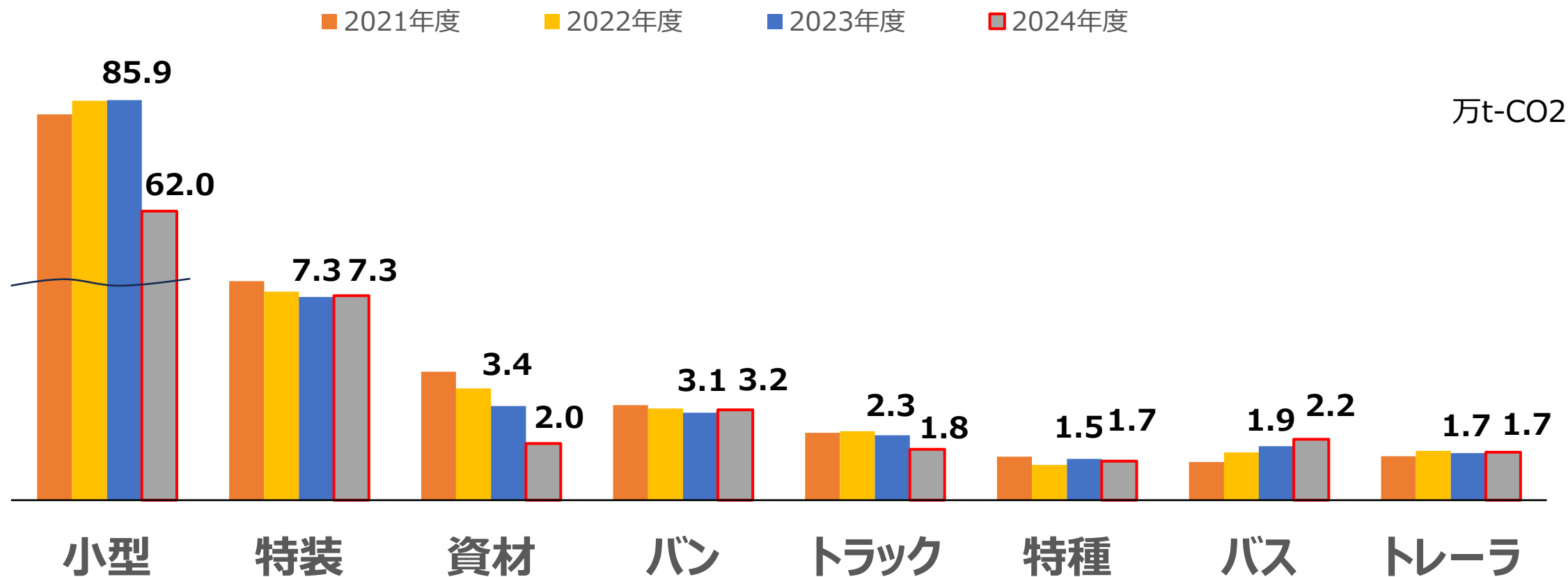
【車工会全体 168社】

正146社、準22社
 全体回答率 72.4% (前年 70.1%)

※CO2排出量 = Scope1,2



部会別CO2排出量推移（参考）



【事例集】儲かるすぐできる誰でもできるCN_2制作の考え方

事例WG

加藤製作所(株)の改善事例

提出いただいた48件の中から着手しやすい

投資額が低く、回収期間が短い
改善事例を中心に選定

- 事例WGメンバーで選定作業
 - ↓
 - 写真、内容追記案件を提出先へ依頼
(事務局経由)
 - ↓
 - 最終掲載事例を決定
- 【会員が改善視点で着手できるもの】

2025年度(2024年度実績) 省エネ・CO2削減量報告

(改善区分) (※該当項目に□を複数選択可)

□照明設備 □空調設備 □給排水設備 □エネルギー設備 □その他

(エネルギー区分) (※該当項目に□を複数選択可)

□電力(kWh) □LPG(kg) □重油・灯油(L) □高気・温水(D) □都市ガス(m³) □エー(m³) □ガソリン・軽油(L) □その他

題名 遮光遮熱カーテン設置による冷暖房電力の削減

概要 オフィス窓に遮光遮熱カーテンを設置し、熱のロスを抑え、冷暖房にかかる電力を削減

実施前 (現状・課題点)		実施後 (改善内容)	
遮光遮熱カーテンなし		遮光遮熱カーテンあり	
		設置後 冷房24.5%削減 暖房10.5%削減	

内容(なるべく図式)

イメージしやすい写真追加
内容追記を依頼

エネルギー使用量の削減効果 (年間)		CO2排出量の削減効果 (年間)	
種別	削減量	削減量	削減率
電力	45,572.0 kWh	22.1 t-CO2	100%
削減率	37.813.0 kWh	18.3 t-CO2	83%
削減率	7,759.0 kWh	3.8 t-CO2	17%
削減率	0.0 kWh	0.0 t-CO2	0%
削減率	0.0 kWh	3.8 t-CO2	17%

コスト削減

削減額		投資回収	
削減額	140 t-CO2	投資金額	170 t-CO2
削減率	140 t-CO2	投資回収	1.2 t-CO2

170千円の投資を1.2年で回収

2025年度(2024年度実績) 省エネ・CO2削減量報告

(改善区分) (※該当項目に□を複数選択可)

□照明設備 □空調設備 □給排水設備 □エネルギー設備 □その他

(エネルギー区分) (※該当項目に□を複数選択可)

□電力(kWh) □LPG(kg) □重油・灯油(L) □高気・温水(D) □都市ガス(m³) □エー(m³) □ガソリン・軽油(L) □その他

題名 遮光遮熱カーテン設置による冷暖房電力の削減

概要 オフィス窓に遮光遮熱カーテンを設置し、熱のロスを抑え、冷暖房にかかる電力を削減

実施前 (現状・課題点)		実施後 (改善内容)	
遮光遮熱カーテンなし ・夏、南面に大きな窓あり ・遮光カーテンはあり、遮熱効果は低い ・ロールカーテンはあり、遮熱効果は低い ・熱が室内に入り、エアコンの効率を悪くしている ・南面に大きな窓は、夏は暑い、冬は寒い		遮光遮熱カーテンあり (市販のカーテンを使用) ・遮光カーテンで遮熱効果により、熱が室内に入りにくくなり、エアコンの効率を良くした ・遮熱効果により、エアコンの効率を良くした ・遮熱効果により、エアコンの効率を良くした ・遮熱効果により、エアコンの効率を良くした	
		設置後 冷房24.5%削減 暖房10.5%削減	

内容(なるべく図式)

エネルギー使用量の削減効果 (年間)		CO2排出量の削減効果 (年間)	
種別	削減量	削減量	削減率
電力	45,572.0 kWh	22.1 t-CO2	100%
削減率	37.813.0 kWh	18.3 t-CO2	83%
削減率	7,759.0 kWh	3.8 t-CO2	17%
削減率	0.0 kWh	0.0 t-CO2	0%
削減率	0.0 kWh	3.8 t-CO2	17%

コスト削減

削減額		投資回収	
削減額	140 t-CO2	投資金額	170 t-CO2
削減率	140 t-CO2	投資回収	1.2 t-CO2

事例WG

【事例集】再生可能エネルギー活用事例制作の進め方

1. 考え方

CO2排出量削減を進めるため、再エネ導入を積極的に進めている車工会中堅会員の事例・実績の事例を集め、会員各社へ提供する

2. ヒヤリング対象

積極的に進めている会員 5～10社抽出、今後決定

3. 調査内容

(1) 再エネ種類

- ・自社発電設備の有無（太陽光、風力など）
- ・再エネ電力外部調達の有無（コーポレートPPA、証書、電力会社メニュー）



<ヒヤリングのポイント>

**初期投資なしで
できるメニューなど**

(2) 再エネ導入量

- ・それぞれの導入量、購入量（kWh）（2024年度実績）、会社の電力量に対する再エネ比率（%）

(3) 導入理由

- ・それぞれの導入した理由（再エネ導入ニーズ、コストや実現性など）



**どういうきっかけで
導入したか、費用、
苦労した話など**

(4) 参考資料

- ・施工会社、販売会社のHP

◆会員への実態把握と訪問支援（アンケート結果より訪問先4社を選定）

支援WG

<考え方>

- 各社の環境取り組み（省エネや産廃物低減）を『現地確認』や『意見交換』を行うことで困りごとや課題を解決につなげ、好事例として他の会員へ展開【支部・部会メンバーにも参加してもらい開催】

<選定基準>

- CO2排出量調査、目標設定・困りごとアンケート回答より、**以下、考え方で現地訪問企業を選定**
（昨年実施した「産業廃棄物取組みアンケート結果も折込み）
 - 【ねらい①】 好事例を他会員へ展開…前向きに取組みを進める意欲ある中小会員
 - 【ねらい②】 一緒に考え成果出しに貢献…目標設定含め今後の取組み・進め方に悩んでいる中小会員

<留意点と実施事項>

- 一方的な指導ではなく、同じ目線で会話**しながら困り事や課題を一緒に考え、**先行して取組んでいる委員から事例紹介やアドバイスを行う**

[会員への情報発信] 現地訪問支援

済
済
済

NO	対象会員								2024年度目標設定アンケート			[参考]2023年度産廃取組みアンケート
	所属 部会	訪問日	会社名	訪問の狙い 選定基準	規模	入会	所在地	地域	目標設定		コメント	
									有	無		
1	バン	12/2(火) 13:30~	㈱北村製作所	①	中小	1948	新潟県 新潟市	新潟	◎ 独自		中小企業版SBT認証済み（2023年11月）、CO2フリー電力採用により2029年までの目標に到達【24年度訪問計画中止】	
2	バン	11/20(木) 13:00~	北海道車体㈱	②	中小	1949	北海道 北広島市	北海道		○	【24年度からの候補会社】	
3	特装	12/17(水) 13:30~	自動車精工㈱	②	中小	1961	埼玉県 橘川市	埼玉		○	現状把握のため、スコープ1・2の排出量は算出。太陽光・LED化・インバーター化などはすでに行っているが、次に費用対効果も含め低減できるものがあれば検討したいと考えている。	
4	資材	1/23(金) 13:30~	㈱オージ	②	中小	-	東京都 北区	東京		○	CNにつきましてこれまで数年にわたり、照明のLED化や空調機器の更新により取り組んでまいりました。しかしながら現在、正直なところ手詰まり感が出てまいりました。他社様の事例等を参考に、新手法を検討してまいります。	
5	特種		飛鳥特装㈱	②	中小	2003	神奈川県 相模原市	神奈川		○	-	
6	特装		豊和工業㈱	①	中小	1968	愛知県 清須市	愛知	◎ 独自		・CNの推進には費用が発生します。現在、まずは収益改善が必須のため、CNに対するコスト増が認められにくい状況。また、人員減により、サステナに関わる 時間を割けないのが現状	2024年度は2022年度の実績、2025年度は2023年度に決めた目標値をベースに、 1.省エネルギー・省スペース・省 2.グリーン調達 3.長寿命製品の製品及び消耗品 4.建設廃材の削減工法の推進
7	特種		岩戸工業㈱	②	中小	2019	岐阜県 各務原市	岐阜	▲ 車工会		検討中のため、課題等が出ましたら、相談させていただきます。	社内の在庫を管理し、廃材の削減に努めた
8	特種		光伸㈱	②	中小	2022	神奈川県 綾瀬市	神奈川	▲ 車工会		ごみの分別・節水・工場内LED化・使用していない部屋や休憩時間には消灯したり活動には取り組んでいますが、具体的に目標値は検証中。ただ人手がいないのですぐに設定することが難しい。	リサイクルできるごみを分別して処分している。
9	トラック		㈱浜名ワークス	②	中小	1951	静岡県 浜松市	静岡		○	目標等、今後検討する予定	2024年度は、廃プラスチック排出量を5%削減する。 (排出時の分別・仕損の削減) ハミックの生産において、埋立しきれない部品の削減に努め、埋立しきれない部品の重量を把握し、ハミック生産の総重量と比較し3%台を目標としている。

①独自の活動を展開されており
意見交換
→ 好事例あれば他会員へ
展開

②活動の行き詰まり、困りごと
共有、目標設定
→ 事例紹介と次策、方向性の
共有

【追加】
③各部会で1社ずつ意見交換会
会員を選定し実施
→ 上記①・②を横断的に実施

追加

先方了承
(部会で相談)

〔会員への情報発信〕 現地訪問結果まとめ

北海道車体、北村製作所との意見交換会での学び

＜ねらい＞

- ・困りごとを一緒に考え成果出しに貢献、好事例を他会員へ展開
- 垂直太陽光パネルのオンサイトPPA導入、PCノートパソコン化、木パレマテリアルスキーム事例などの**独自の取組み**を、**会員展開**
- **収益に直結する事例**が**経営者には一番有効な情報**であるとのこと意見を頂き、省エネや経費削減、効率化事例を中心に情報展開していく
- 支部連携として**支部研修会**などへ参画し、**基礎的な説明会、理解活動を**進めていく

＜今後の進め方＞

- ・独自の取組み、改善事例を集約～HPへの掲載
- ・より部会、支部が参加しやすい現地訪問計画の立案
(上記改善事例の紹介など)

垂直太陽光パネル
オンサイトPPAにて初期費用ゼロ



北海道車体

エア・ウォーターHPより

木パレはマテリアルリサイクルを推進
ペレット化しバイオマス発電チップとして再利用



北村製作所

中央業務委員会/広報委員会

■ CN専用ホームページ運用状況

閲覧状況

	2025/4～10（7ヶ月）	2024/7～2025/3（9ヶ月）
表示回数	2,469回/年 ⇒ 352 回/月	1,942 ⇒ 215
ユーザーあたりのビュー	5ページ	4
平均エンゲージメント時間	1分8秒	39秒

(Googleアナリティクスデータより)

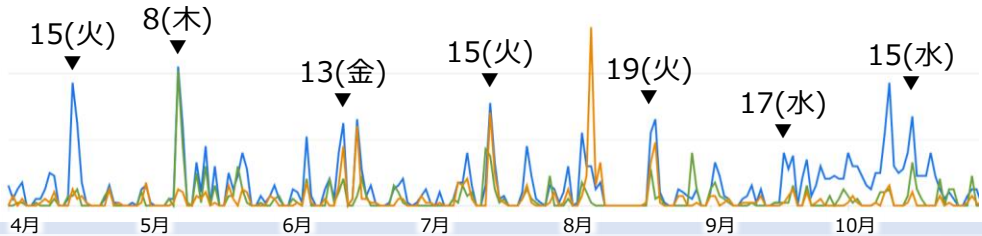
考察 データより、ユーザーが今まで以上に閲覧している傾向がうかがえる

- 今後
- ・CN情報の配信を継続し、閲覧状況をウォッチ
 - ・CN専用HPの紹介(月中案内)を継続（中央業務委員会）

HP閲覧向上の施策
(広報委員会での議論)

- ・SNSでHP誘導
- ・QRコードを多用

→車工会インスタを活用
(JMS2025より運用)



トピックス（部会・支部）

部会

	活動状況
特装	・CN WG活動を実施中 ①WGメンバー2社から取組み事例紹介、質疑応答(8/20) ②困りごとの共有、意見交換とCO₂排出量部会集約状況の共有(10/15)
特種	・CO₂排出量調査の部会集約状況を共有(41/59社 = 69%昨年同値) ・環境委員会と連携した訪問支援活動への参画を展開予定
トラック	・部会独自調査で困り事としてあがった、CO₂排出量調査記入方法に関する説明会の開催を計画中 ・環境委員会と連携した訪問支援活動への参画を展開予定
バン	・業務委員会主導で「改善事例、生産性向上事例発表会」を12/5開催（発表者：日本フルハーフ、トランテックス、矢野特殊自動車）次ページ参照

＜日時＞ 12月5日（金） 16:00～17:00

＜発表＞

1. 車体工業会 : 車工会HPを活用したCN活動促進
2. 日本フルハーフ(株) : 廃棄物削減によるCN活動
3. (株)トランテックス : 自社のCN活動体制と活動事例
4. (株)矢野特殊自動車 : 自社CNプロジェクトと活動内容

会員の実際の取組み事例が共有でき、大変参考になる発表会となった。
全会員に向けた発表会での紹介を今後（2月頃）検討（CN専門委員会主催）

支部

勉強会等開催状況

支部	進捗状況	備考
北海道	北海道車体(株)に 工場環境分科会 訪問し、 支部会員 も含めた勉強会、意見交換会開催	11月20日
東北	開催日程検討中（2月開催予定）	
新潟	(株)北村製作所での 現地訪問意見交換会 （環境委員会主催）に新潟支部も参加	12月2日
関東	CN勉強も兼ねた役員工場見学会 @小松マテーレ 「 冬季省エネ取組み 」都県会展開（環境省展開内容）	9月4日
中部	工場見学会（含 カラクリ勉強会 ）を12/10開催（ トヨタ車体(株) 富士松工場）	12月10日
近畿	製造部会で(株)アルナ矢野特車を工場見学、CNへの取組みを勉強。(18社37名) ジェイ・バス(株) 工場見学で 生産性向上の取組み を学ぶ(15社22名)	7月18日 10月17日
中国	CN説明会開催日程検討中	
四国	秋季研修会として、 兼松エンジニアリング（株） で工場見学、CN勉強会を開催	11月21日
九州	西鉄車体技術(株) にて工場見学、 CN勉強会 を開催（19社32名）	7月8日